

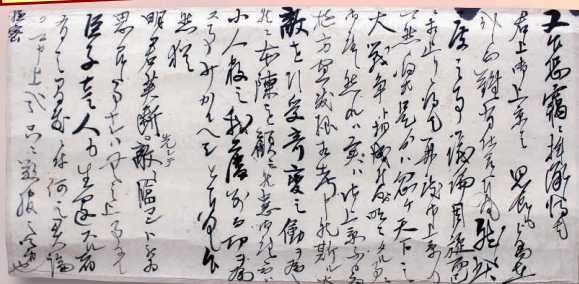
中岡慎太郎が考えた国家とは、身分ではなく、人間の能力にあわせて役割があたえられ、特技を生かすことができるしくみをつくることです。

慎太郎が自らの国家構想実現に奔走した際の人脈は、薩摩・長州・土佐の諸藩にとどまらず、三条実美、岩倉具視、正親町三条実愛など公卿にも及んでいます。

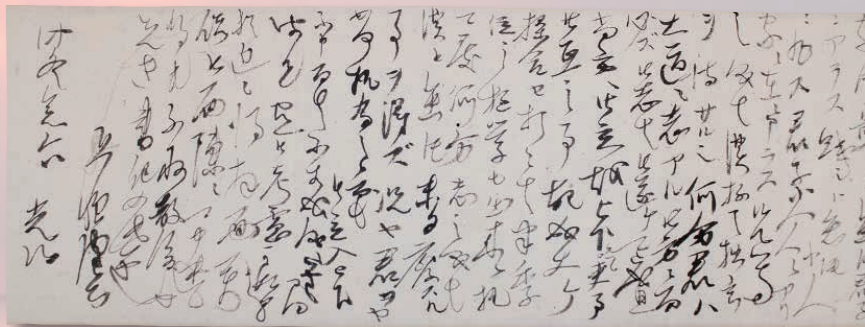
本展では、慎太郎の国家構想とそれを作り出した人脈にスポットを当て、慎太郎の政治的リアリズムを浮き彫りにします。

慎太郎の筆跡 真筆 15 点展示 (展示替えあり)

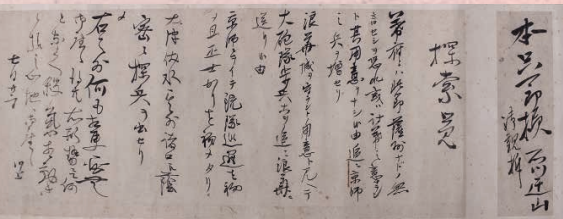
高知県初公開!



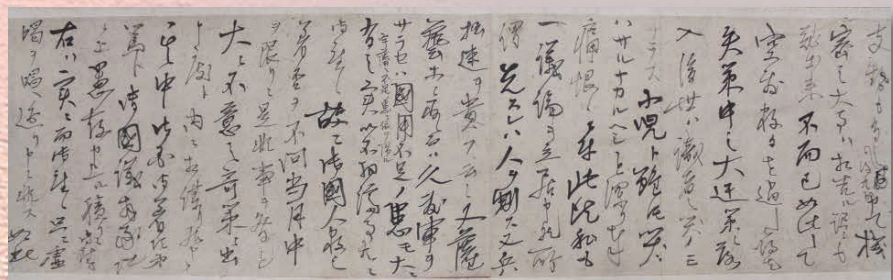
中岡慎太郎書状 本山只一郎宛 (部分)
慶応3年7月22日 (霊山歴史館蔵)
※土佐藩に戦争を想定した行動を促す



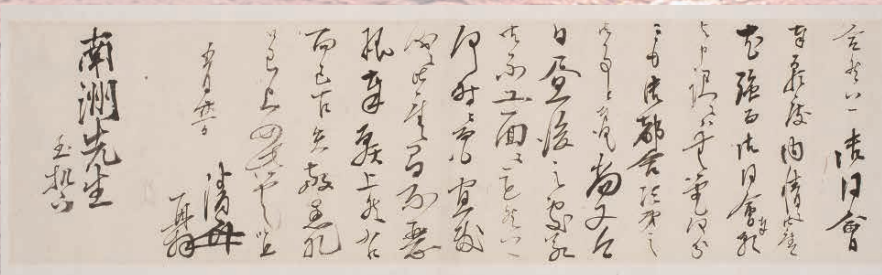
中岡慎太郎書状 新井竹次郎宛 (部分)
文久元年11月26日 (高知県立坂本龍馬記念館蔵)
※慎太郎の人生哲学がかかれたもの



中岡慎太郎書状 本山只一郎宛
慶応3年7月22日 (佐川町立青山文庫蔵)
※幕府の軍備増強を報告したもの

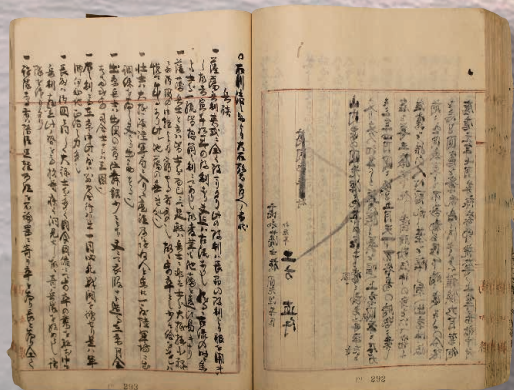


中岡慎太郎書状 本山只一郎・佐々木高行宛 (部分)
慶応3年8月13日 (大洗町幕末と明治の博物館蔵)
※土佐藩兵派遣を強く訴えるもの

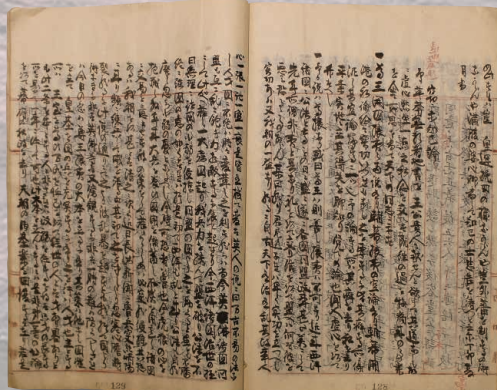


中岡慎太郎書状 西郷隆盛宛 (部分)
慶応3年5月21日 (駒澤大学禅文化歴史博物館蔵)
※薩土討幕の密約について

慎太郎の論策



皆山集 96 (高知県立図書館蔵)「兵談」
※西洋式軍隊の作り方について



皆山集 95 (高知県立図書館蔵)「窃二示知己論」
※大政奉還を主張